

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階

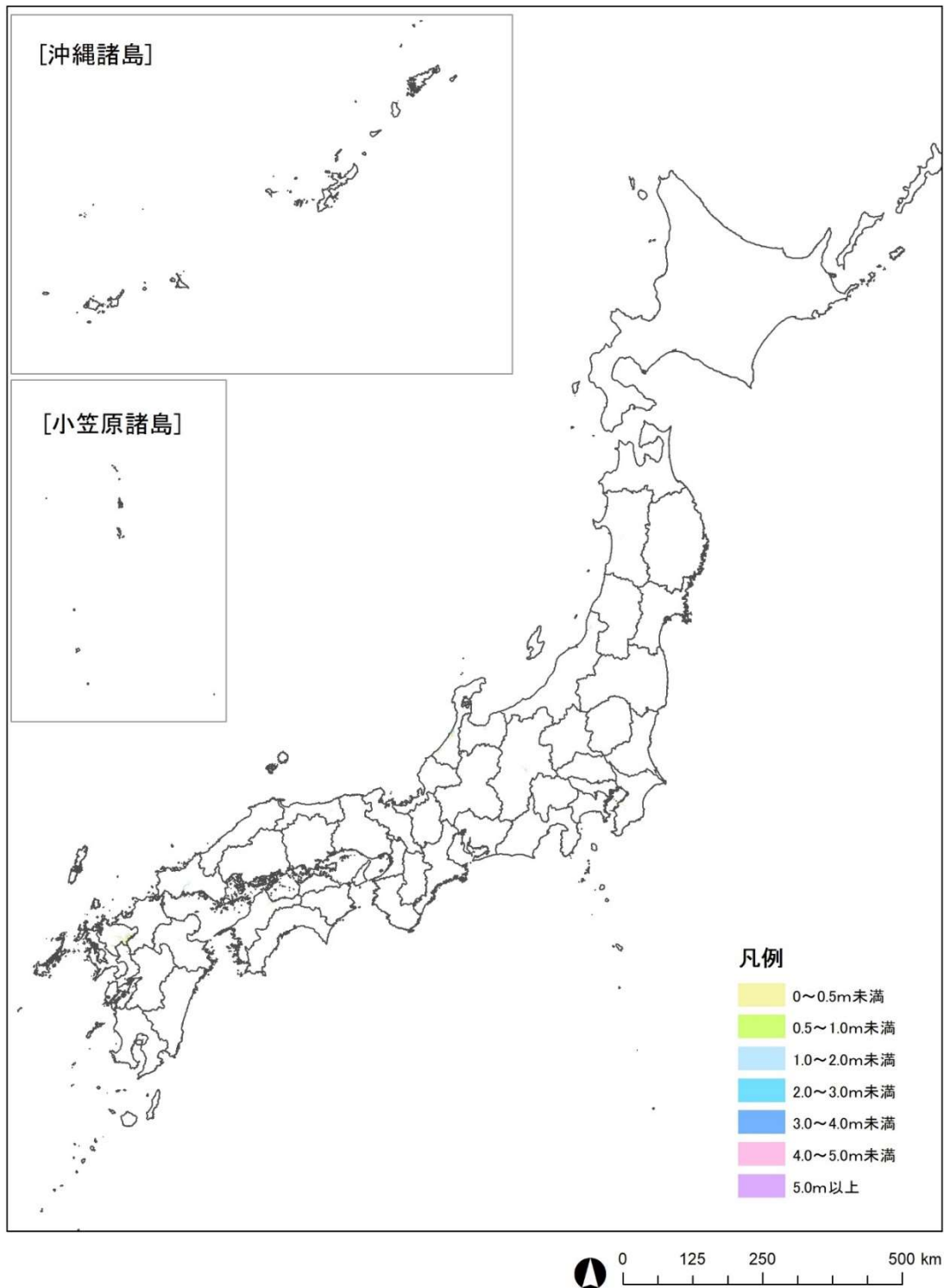


図2.2-11 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階



図2.2-12 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況

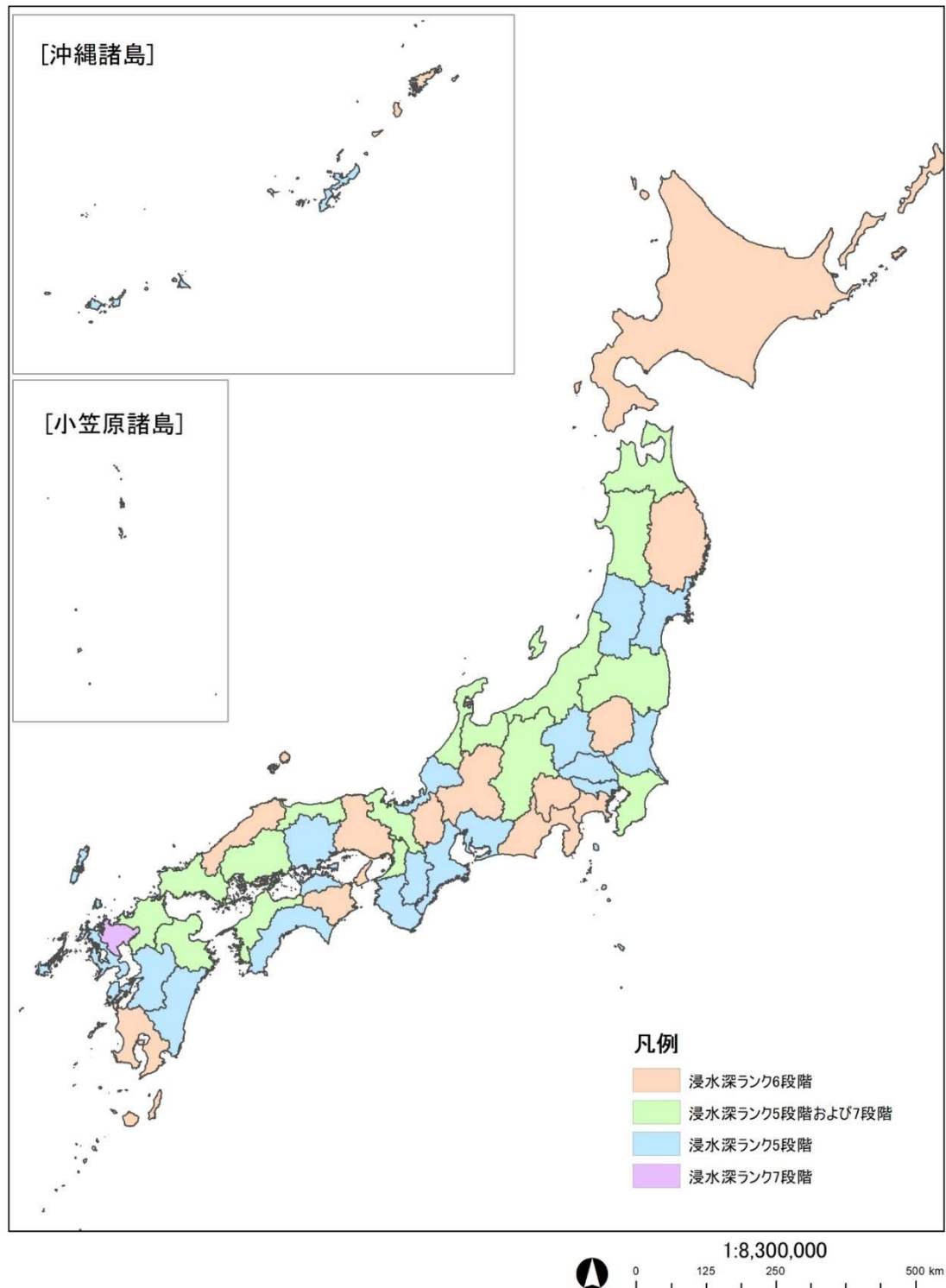


図2.2-13 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況

浸水想定区域(津波)

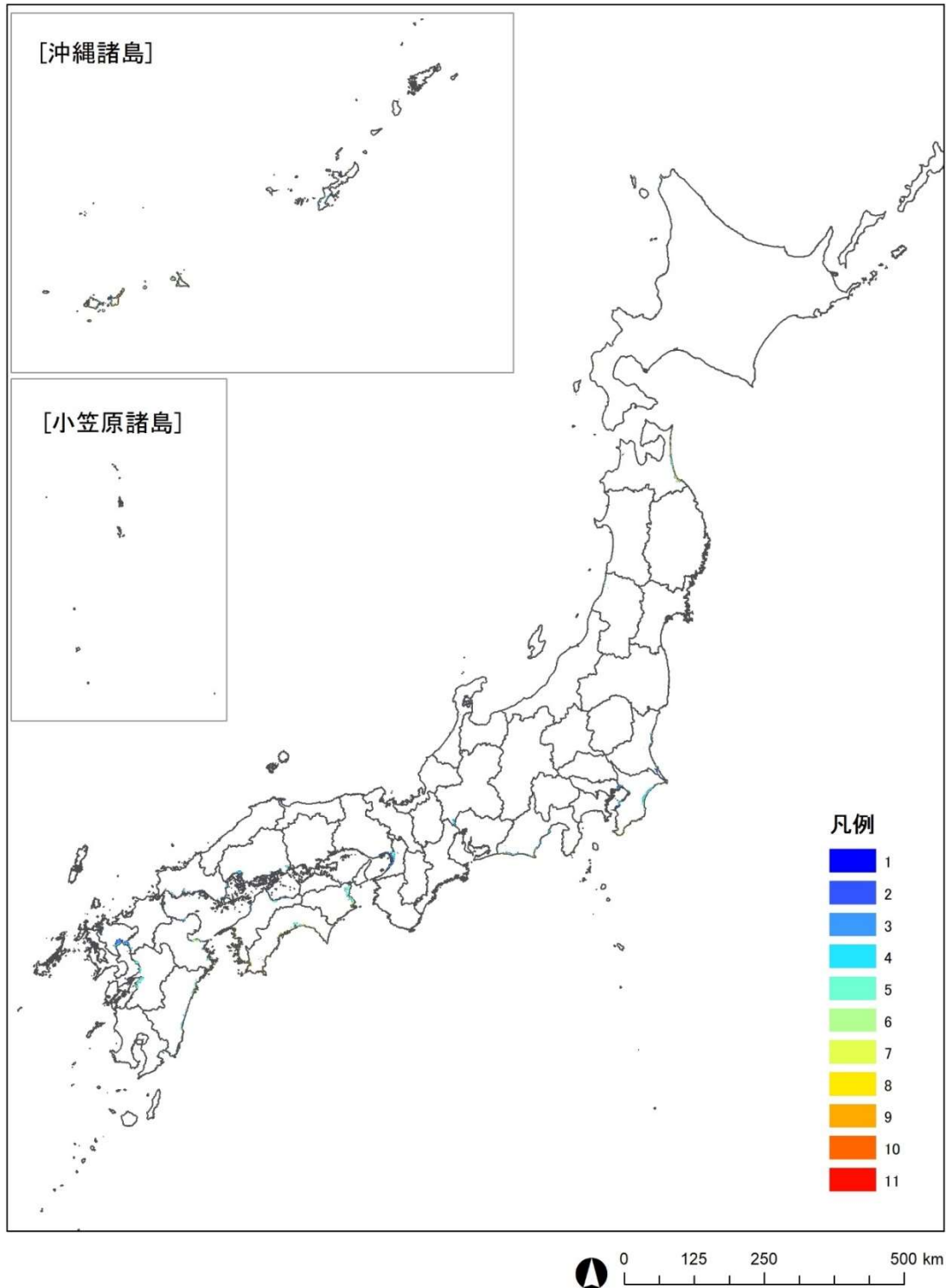


图2.2-14 浸水想定区域 (津波)

浸水想定区域(津波)

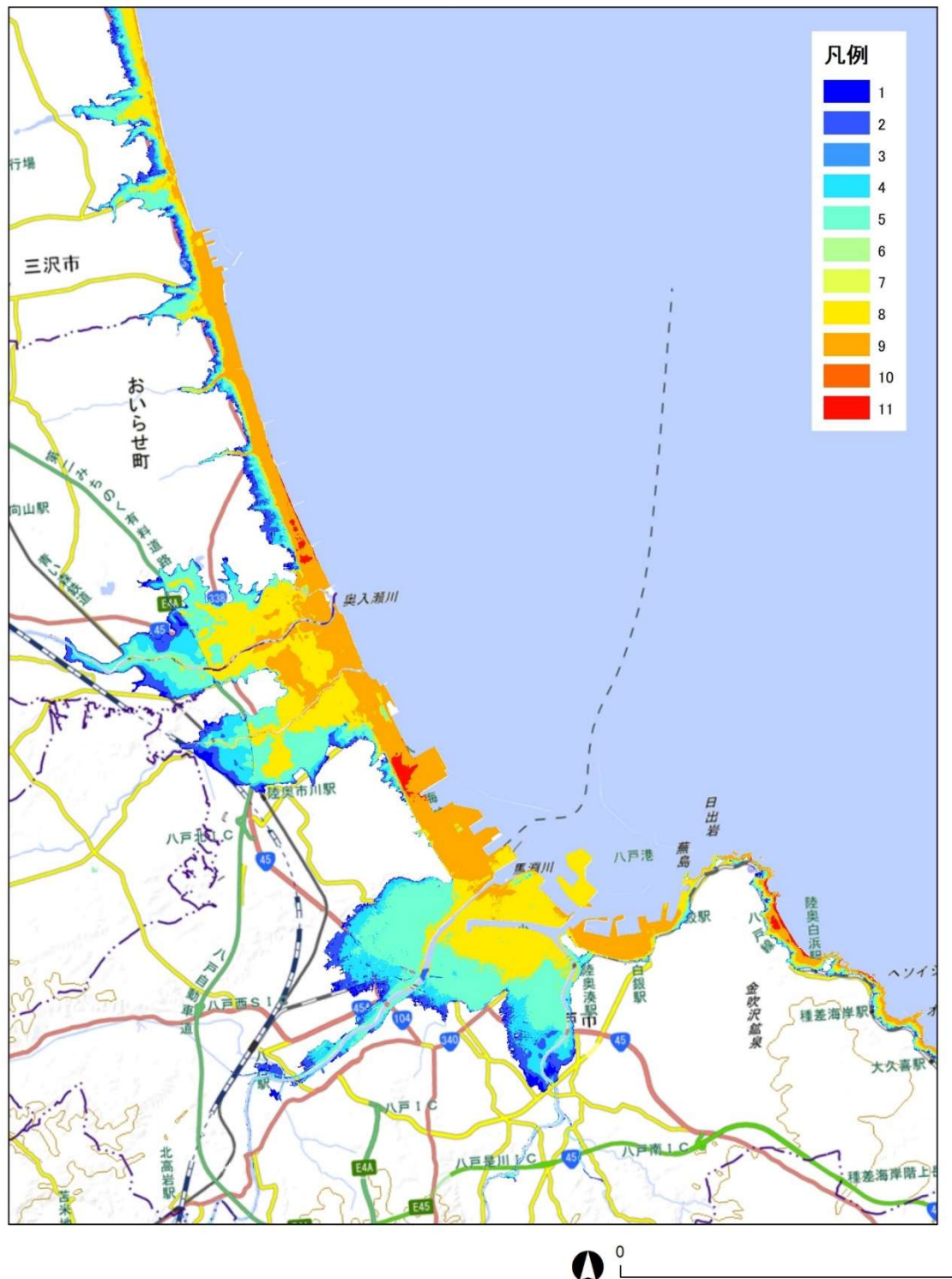


図2.2-15 浸水想定区域(津波) 部分拡大

<津波浸水想定 凡例表示>

凡例区分	津波浸水際					
	北海道	青森県	山形県	茨城県	千葉県	石川県
1	～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満				0.5m 以上 1.0m 未満	0.5m 以上 ～ 1m 未満
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	1m 以上 ～ 3m 未満
5		2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満		
6	3m 以上 ～ 5m 未満				3.0m 以上 5.0m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7						
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上	10m 以上 ～ 20m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満
10						
11	20m 以上	20m 以上			20.0m 以上	

凡例区分	津波浸水際					
	岐阜県	静岡県	京都府	大阪府	兵庫県	鳥取県
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満					0.5m 以上 ～ 1m 未満
4	1m 以上 ～ 3m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 3m 未満
5		2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 4m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満
6	3m 以上 ～ 5m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満		3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7			4m 以上	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	
8		5m 以上 ～ 10m 未満		5m 以上	5m 以上	5m 以上 ～ 10m 未満
9		10m 以上 ～ 20m 未満				
10						
11		20m 以上				

凡例区分	津波浸水際					
	島根県	広島県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県
1	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満					
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満
5		2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満
6	3m 以上 ～ 5m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7		4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上	5m 以上	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9				10m 以上	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 15m 未満
10						15m 以上 ～ 20m 未満
11					20m 以上	20m 以上

凡例区分	津波浸水際					
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満
3						
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満
5	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満
6					3m 以上 ～ 4m 未満	
7					4m 以上 ～ 5m 未満	
8			5m 以上 ～ 10m 未満		5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9					10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満
10						
11						

凡例区分	津波浸水際					
	鹿児島県	沖縄県				
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満				
2	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満				
3						
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満				
5	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満				
6	3m 以上 ～ 5m 未満					
7						
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満				
9	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満				
10						
11		20m 以上				

図2.2-16 浸水想定区域（津波）凡例

浸水想定区域(津波)_収録状況

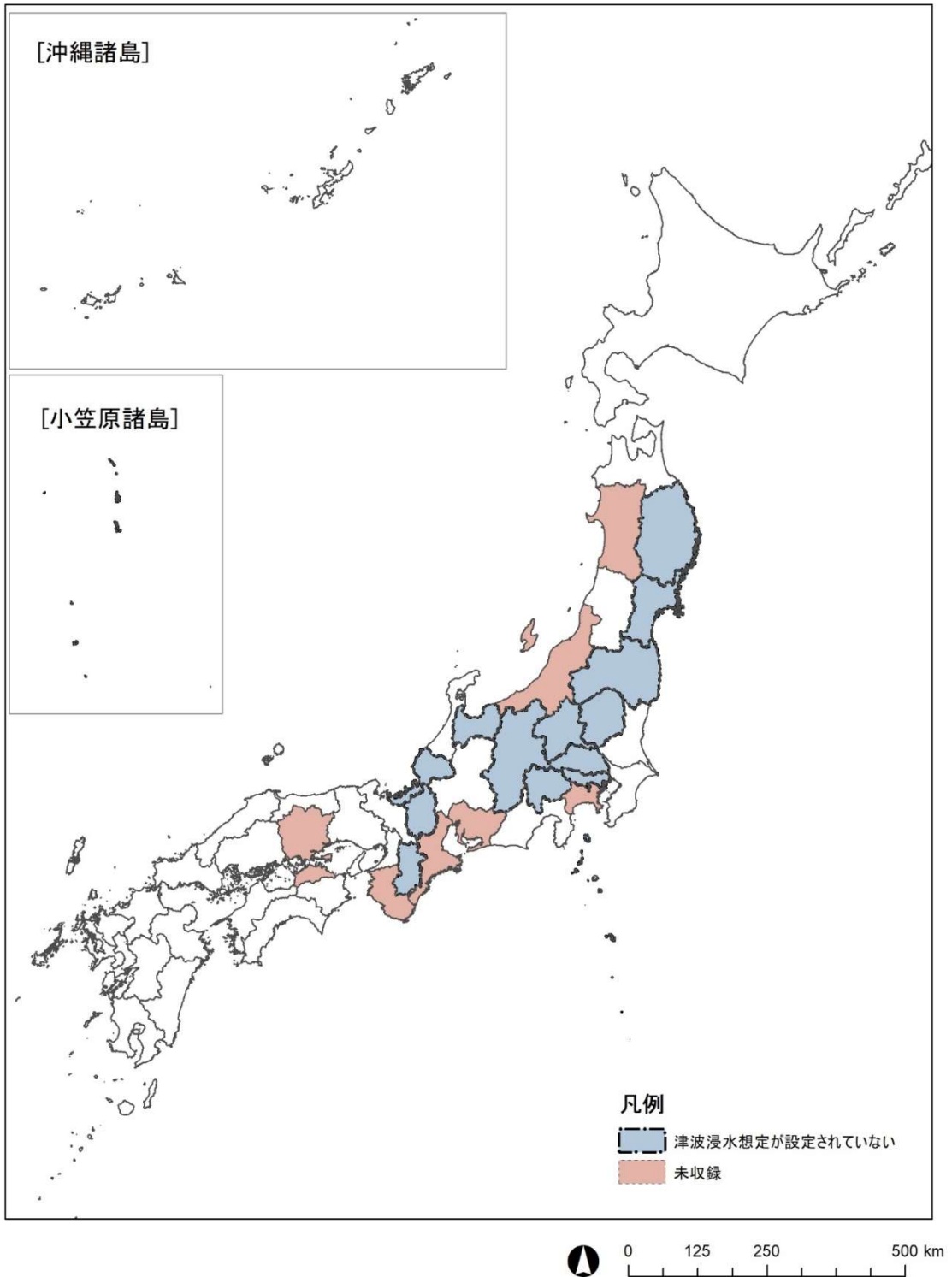


図2.2-17 浸水想定区域(津波)_収録状況

浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))

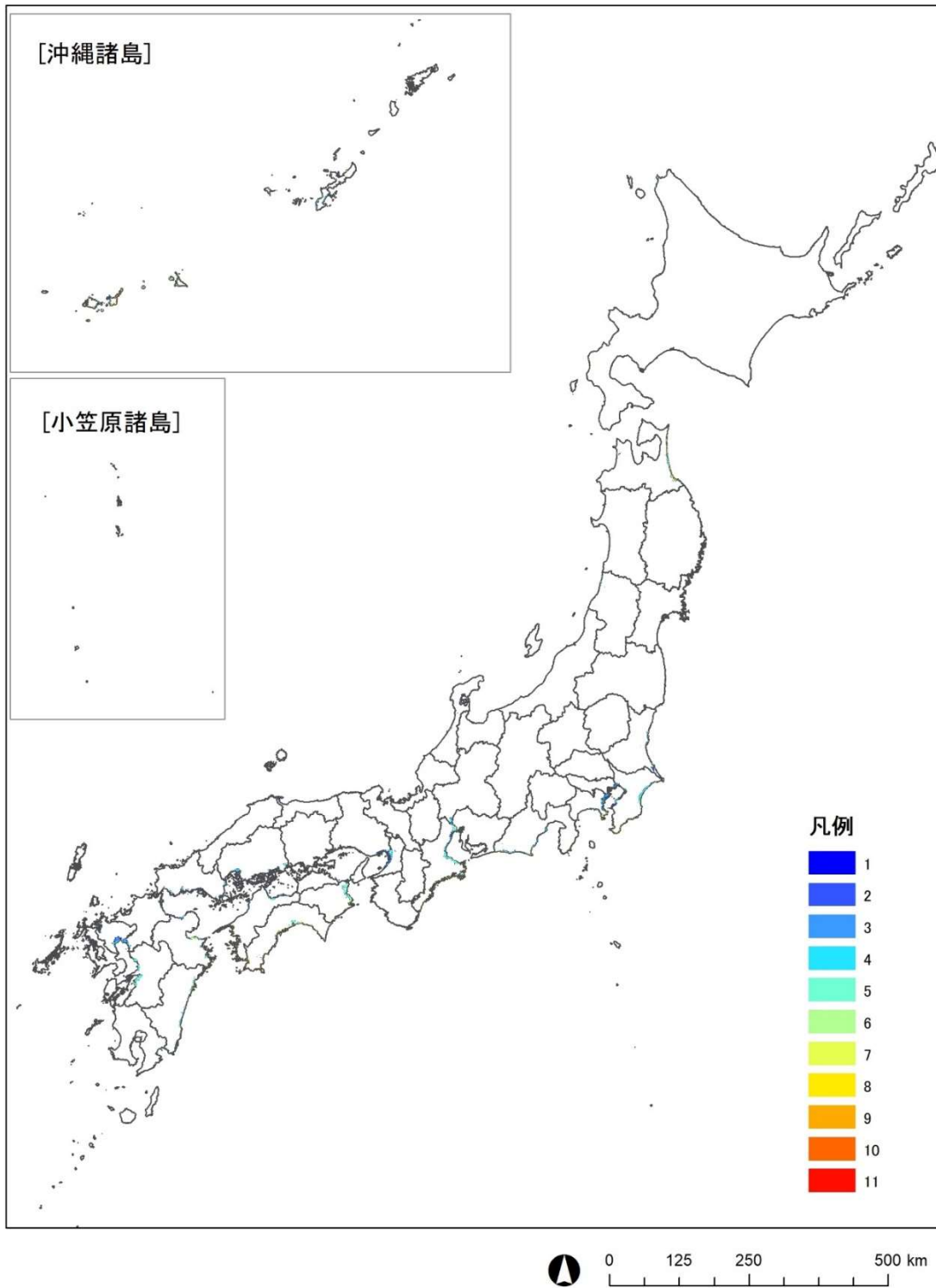


図2.2-18 浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))

2.2.5 システム搭載用データの作成

(1) システム搭載用GISデータの仕様

作成したGIS データが、EADASのシステムで適切に表示されるように、システム搭載用データを作成した。システム搭載用データの仕様を表2.2-19に示す。

表2.2-19 システム搭載用データの仕様等

共通事項	
データ形式	ファイルジオデータベース (FGDB) 形式 シェープファイルまたはラスターデータをFGDBへ変換し、データセットとして登録する。
	マップキャッシュ (※一部の情報項目に適用) 情報量が多いことなどによる、WebGIS上で表示に時間を要する情報項目については、それぞれ定められた縮尺レベルに対応したマップキャッシュデータを整備する。
	マップドキュメントファイル FGDBから読み込んだ各情報項目のレイヤについて、それぞれ属性項目一覧で定義した属性項目 (エイリアス) 名の入力、凡例、ラベル、表示縮尺等を設定する。なお、マップドキュメントファイルは、データソースを相対パスで保有する設定とし、EADASシステムのArcGIS Serverと同じバージョンのファイルとして保存する。
データフレームの座標系	マップドキュメントに設定する座標系は、WGS_1984_Web_Mercator_Auxiliary_Sphere (WKID:3857) とする。
ファイルの命名規則	ファイルジオデータベースとマップドキュメントファイル、および各情報項目のレイヤ名は、EADAS搭載用GISデータの構成に従う。

(2) システム搭載用GISデータの構成

作成したGISデータにおけるEADAS搭載用GISデータの構成を表2.2-20に示す。

表2.2-20 システム搭載用GISデータ構成

DB区分	カテゴリ_大区分		カテゴリ_小区分		情報項目 (情報名)		レイヤ名	ファイル名	システム搭載単位 (マップサービス)	
	NO_1	データ分類1	NO_2	データ分類2	NO_3	データ分類3	データ分類4	ファイル名	レイヤ 順序 マップサービ ス単位内	マップ キャッ シュ
全国環境情報	2	社会的状況	8	防災関連情報	X1_01_01	土砂災害特別警戒区域(位置)	土砂災害特別警戒区域(線)	SD01_T_L	1	—
					X1_01_02	土砂災害特別警戒区域(範囲)	土砂災害特別警戒区域(面)	SD01_T_A	1	●
					X1_01_03	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	SD01_K_A	1	●
					X1_02_11	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	SD02_1_A	1	●
					X1_02_21	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	SD02_2_A	1	●
					X1_02_22	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	SD02_3_A	1	—
					X1_02_23	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	SD02_4_A	1	—
					X1_02_24	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	SD02_N_A	1	—
					X1_03_01	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	SD03_1_A	1	●
					X1_03_02	浸水想定区域(津波)_収録状況	浸水想定区域(津波)_収録状況	SD03_N_A	1	—
					X1_03_03	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	SD03_2_A	1	●

(3) システム搭載用データの情報説明

作成したGISデータの原典情報等をEADASに収録して表示させるために、情報説明一覧表を作成した。一覧表には、各情報の内容、原典、整備年度、URL情報、留意事項、表示縮尺制限について記載した。情報説明を表2.2-21～23に示す。なお、情報説明一覧表は、システム運用業者に提出した。

表2. 2-21 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ大区分	カテゴリ小区分	情報項目(情報名)	レイヤ名	内容	原典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の制限
	データ分類1	データ分類2	データ分類3	データ分類4									
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち国管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は国管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)令和元年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が6区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が5区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)平成24年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500

表 2.2-22 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ_大区分	カテゴリ_小区分	情報項目(情報名)	レイヤ名	内容	原典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の制限
	データ分類1	データ分類2	データ分類3	データ分類4									
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が7区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)平成24年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31-v2.1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/saigai/yozaitei/ht.html	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/azardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、本サイトでの収録状況を示している。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2.4.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。		[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	津波防災地域づくり法に基づいて設定された津波浸水想定について、位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(津波浸水想定)平成28年度および平成29年度および平成30年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A40.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	国土数値情報(津波浸水想定)データの利用にあたり、国土情報利用約款のほか、都道府県毎に定められた利用条件を必ず遵守するようにしてください。実際の津波はこの津波浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(津波)収録状況	浸水想定区域(津波)収録状況	津波防災地域づくり法に基づいて設定された津波浸水想定について、本サイトでの収録状況を示している。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2.4.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。		[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500

表2.2-23 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ_大 区分	カテゴリ_小 区分	情報項目 (情報名)	レイヤ名	内 容	原 典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の 制限
	データ分類 1	データ分類 2	データ分類3	データ分類4									
全国環境 情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域 (津波)(非公開 (環境省))	浸水想定区域 (津波)(非公開 (環境省))	津波防災地域づくり法に 基づいて設定された津波 浸水想定について、位置 (面)、浸水深等の情報を GISデータとして整備した ものです。	1. 国土交通省国 土政策局「国土数 値情報(津波浸水 想定)平成28年度 および平成29年 度および平成30 年度」をもとに加 工	令和2年度	https://niftp.mlit.go.jp/ksi/gml/datalist/KsiImlt-A40.html			原典の国土数値情報を使用 する場合は、「国土数値情 報ダウンロードサービス利 用約款」(URL3参照)の利 用条件を遵守するとともに、 約款に示される方法により 「国土数値情報」を使用した ことを必ず明記してくださ い。	国土数値情報(津波浸水想定)データの利用に あたり、国土情報利用約款のほか、都道府県 毎に定められた利用条件を必ず遵守するよう にしてください。実際の津波はこの津波浸水想 定よりも大きい場合があります。	[縮小の限 度]1: 9,300,000、 [拡大の限 度]1:4,500

2.2.6 本システムの運用者との連携調整

システム搭載用データの作成は、本システム運用業者と連携して行った。これにより、当該運用業者からはシステムに搭載可能なデータであることの確認を受けた。本システム運用業者による確認結果を表2.2-24に示す。

表2.2-24 システム運用業者による確認結果

DB区分	カテゴリ_大区分		カテゴリ_小区分		情報項目 (情報名)		レイヤ名	公開設定	確認	搭載可否
	NO_1	データ分類 1	NO_2	データ分類 2	NO_3	データ分類3	データ分類4			
全国環境情報	2	社会的状況	8	防災関連情報	X1_01_01	土砂災害特別警戒区域(位置)	土砂災害特別警戒区域(線)	公開	確認済	搭載可
					X1_01_02	土砂災害特別警戒区域(範囲)	土砂災害特別警戒区域(面)	公開	確認済	搭載可
					X1_01_03	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	公開	確認済	搭載可
					X1_02_11	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_21	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_22	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_23	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_24	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	公開	確認済	搭載可
					X1_03_01	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	公開	確認済	搭載可
					X1_03_02	浸水想定区域(津波)_収録状況	浸水想定区域(津波)_収録状況	公開	確認済	搭載可
					X1_03_03	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	公開	確認済	搭載可

2.2.7 EADAS への搭載に関する検討

前項で作成したEADAS 搭載用データをEADAS に搭載するに当たり、EADAS において必要な対応について検討した。検討の結果、浸水想定区域（津波）については都道府県ごとに浸水深区分の設定が異なるため、別ウインドウにて表示・照会できるように設定するものとした。表示イメージを図2.2-19に示す。

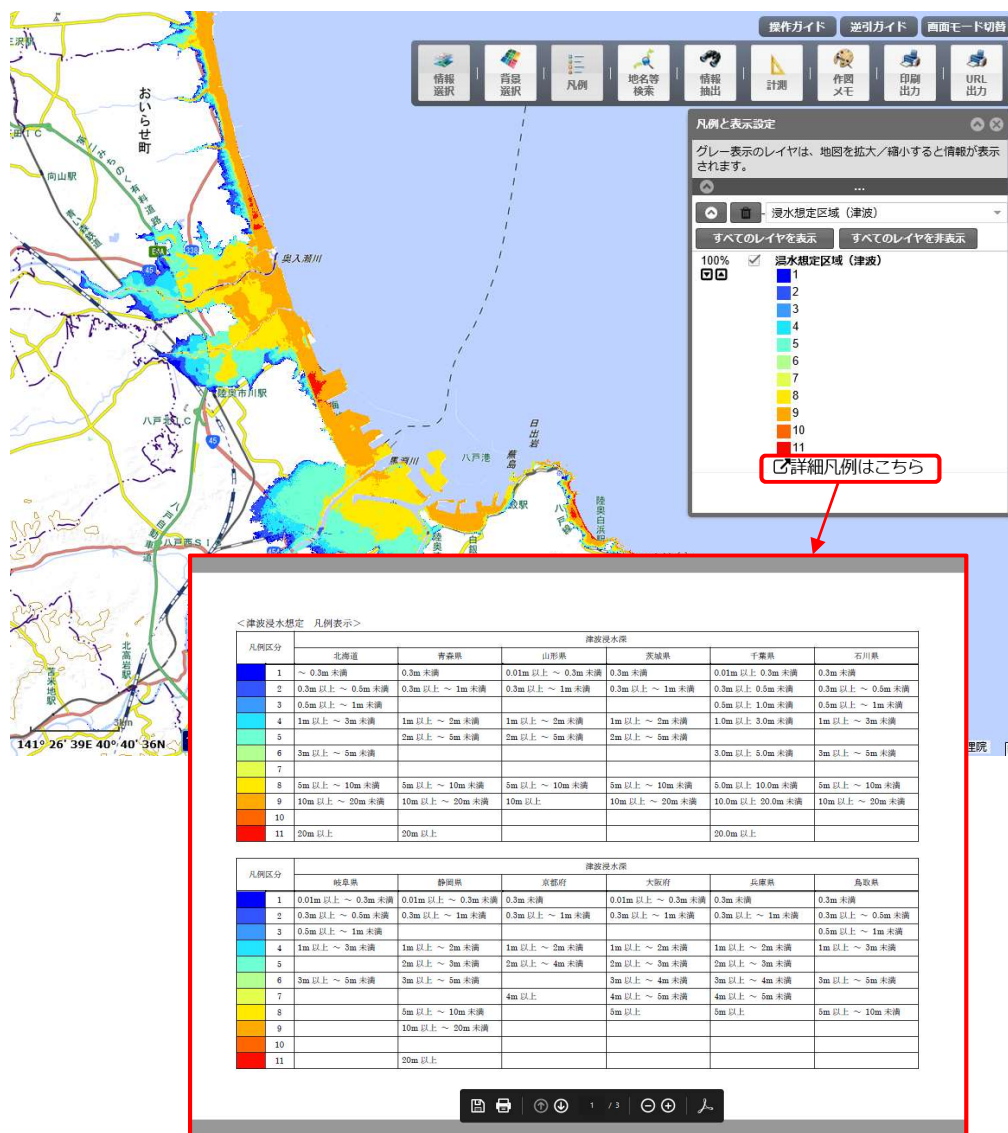


図2.2-19 浸水想定区域（津波）の凡例表示イメージ

2.2.8 品質検査

本業務で整備した防災関連情報の GIS データについて、製品仕様書で定めた品質要求に従いデータの品質検査を実施し、その結果を品質評価報告書としてとりまとめた。また、GIS データは EADAS システムの運用業者による受け入れ検査を受けた。品質評価報告書を表 2.2-25～33、受け入れ検査結果を表 2.2-34 に示す。

表2.2-25 品質評価報告書 土砂災害警戒区域

品質評価報告書土砂災害警戒区域										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害警戒区域	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様で定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2.2-26 品質評価報告書 土砂災害特別警戒区域（位置）

＜品質評価報告書＞土砂災害特別警戒区域(位置):土砂災害特別警戒区域(面)										
パッケージ	地物	品質要素	品質評価要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害特別警戒区域(面)	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	
			位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
				相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
		時間正確度	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2.2-27 品質評価報告書 土砂災害特別警戒区域（位置）

＜品質評価報告書＞土砂災害特別警戒区域(位置):土砂災害特別警戒区域(線)											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報		完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			論理一貫性	書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
				概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		定義域一貫性		地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
		位相一貫性		-	-	-	-	-	-	-	
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	-
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	-	-
			分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
		定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格				

表2.2-28 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害警戒区域	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	
			位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
				相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
		グリッドデータ位置正確度		-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2. 2-29 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-30 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階

＜品質評価報告書＞浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-31 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階									
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由
全国環境情報	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	

表2.2-32 品質評価報告書 浸水想定区域（津波）

＜品質評価報告書＞浸水想定区域（津波）											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報	浸水想定区域（津波）	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
		時間正確度	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-33 品質評価報告書 浸水想定区域（津波）_収録状況

品質評価報告書 浸水想定区域(津波) 収録状況									
パッケージ	地物	品質要素	品質評価要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由
全国環境情報	浸水想定区域（津波）	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	

表2. 2-34 運用業者による品質検査結果

情報項目	搭載データ 検査	検査実施日	検査内容								
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
土砂災害特別警戒区域（位置）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
土砂災害特別警戒区域（範囲）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
土砂災害警戒区域	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	2021/1/21	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）_収録状況	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）（非公開（環境省））	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
<p><検査内容></p> <p>①座標系が正しく定義されているか</p> <p>②システム登録する際にエラーが表示されないか</p> <p>③背景地図（地理院地図）と重なって表示されるか</p> <p>④スケールフィルタを設定している場合、表示状態に正しく反映されているか</p> <p>⑤凡例が設定されたとおりに表示されるか</p> <p>⑥文字コードはシステムで利用可能な文字コードとなっているか</p> <p>⑦検索と結果表示が正しく行われるか</p> <p>⑧地図データ閲覧・印刷が正しく行われるか</p>											